



「答えを出す力」と「考えの過程を説明する力」 ～学校と家庭がともに育む、子どもの学びの力～

令和 8 年 10 月 2 日
裾野市立南小学校

「全国学力・学習状況調査」における本校の結果について、分析と今後の取り組みについてまとめましたのでお知らせします。今年度は、国語・算数の調査を行いました。正答数については、国語は県平均と同程度で全国平均をわずかに下回る結果、算数は県平均、全国平均をわずかに上回る結果となりました。

2 教科の分析による成果と課題

成果	課題
『資料から必要な情報を読み取り、 答えを出す力』が身に付いている。	文章や設問の内容を把握しながら、『見通しをもって解決する力』とどの ように考えたのかという『考えの過程を説明する力』に課題が見られた。
今後の取り組み	
見通しをもって問題に取り組む場の充実 問題全体を確認してから取り組む習慣を身に付けるとともに、重要な情報に着目する学習活動を取り入れます。 また、時間を意識しながら課題に取り組む経験を積み重ねていきます。	
考えの過程を表現する活動の充実 授業の中で「どうしてそう考えたのか」「どのように考えたのか」を表現する場面を増やします。	

教科ごとの成果及び課題、今後の取り組み

国 語	◎資料から要点や必要なことを読み取る力、自分の考えを表現する力が育っています。 ▲漢字を文の中で正しく使うなどの漢字の定着に課題があります。 ▲文章や設問を見通して必要な情報を捉えながら読み進めたり、条件を整理して記述したりすることに 課題があります。 《今後の取り組み》 ・朝の 5 分間モジュールを活用し、落ち着いて学習する時間をこれからも継続して設定します。 ・定期的な漢字小テストや学期末に漢字テストを行い、漢字の定着を図ります。 ・文章や設問の全体像をつかんでから読み進める学習を取り入れるとともに、条件を確認しながら要点 をまとめて記述する活動を充実させます。
算 数	◎示された情報を基に、条件に合うものを推論する力が育っています。 ▲どちらの数が大きいのか、誤りがあるのはどちらかなどを言葉で説明することに課題があります。 《今後の取り組み》 ・算数用語の定着を図るとともに、自分の考えを図や式、言葉を使って説明する活動を充実させます。 また、問題全体を捉えて見通しをもって解決する学習を取り入れていきます。

集中できる環境と生活リズムをつくろう！

「勉強に集中してほしい」と思っても、子供に「集中しなさい！」と言うだけでは、なかなか難しいもので
す。集中しやすい生活や環境を整えることが、学習に向かう力を支えます。

①「しっかり寝る」

睡眠不足は、日中の眠気だけでなく、注意力や集中力にも影響します。

「夜更かしをしない」「毎日できるだけ同じ時間に寝る」など、生活リズムを整えましょう。

②「ながら」を減らす

テレビをつけたまま、スマートフォンをそばに置いたまま…では、学習に意識を向け続けることが難しく
なります。学習するときは必要なものだけを机の上に置くなど、集中しやすい環境をつくりましょう。

③短い時間から始める

最初から長時間集中することを求めるのではなく、「まずは 5 分やろう。」「ここまで終わったら一度休憩し
よう。」など、見通しをもって取り組めるようにすることも効果的です。「集中できた！」という経験を積み
重ねることで、少しずつ集中して取り組める時間を伸ばしていきましょう。

④体を動かす時間も大切に

遊びや運動など、体を動かすことは、健康だけでなく注意や記憶などの認知機能にもよい影響があります。
外遊びや散歩、スポーツなど、毎日の生活の中で体を動かす時間を大切にしましょう。

集中力は「集中できる環境」を一緒につくるところから始まります。毎日の小さな積み重ねが、子供が落
ち着いて学習に向かう力を支えます。まずはご家庭で、できそうなことを一つ探してはじめてみませんか？

※裾野市全体の傾向をまとめたプリントも配付しましたので、ご覧ください。